

## 基調講演およびパネルディスカッションパネリスト登壇者プロフィール一覧(敬称略)

	名前(ふりがな)	写真	会社名(屋号) (住所)	事業内容	プロフィール
基調講演	(おくだ まさゆき)		アルケッチャーノ オーナーシェフ (株式会社オール・ケッチャーノ) (山形県鶴岡市)	イタリア料理店経営	昭和44年生まれ、山形県鶴岡市出身。山形県境新潟県育ち。鶴岡の高校を卒業後、東京にてイタリア料理をはじめとする様々な業態で修業。25歳で帰郷し、ホテルの料理長などを経験した後、2000年3月、地元食材で作るイタリア料理店「アル・ケッチャーノ」をオープン。その後、直営店6店舗、プロデュース店9店舗にまで事業を拡大。2012年、スイス ダボス会議で、「Japan Night2012」料理責任監修を務める。2016年、農林水産省より料理マスターズシルバー賞(全国で5名)を受賞。ハンガリーやアメリカのホテルでフェアを開催するなど、独創性に富んだ料理は、海外でも高く評価されている。現在、山形県庄内総合支庁より「食の都庄内」親善大使に任命されているほか、「庄内浜文化伝道師マスター」にも任命され、食から地方創生を推進している。
	奥田 政行				
パネルディスカッション 青森県パネリスト	(くりやがわ りゅうこ)		ノースビレッジ合同会社 (青森県南郡町)	首都圏への農産物流通、地産地消・ 伝統食継承を目的とした飲食店、小 規模起業者のインキュベーションセン ター運営	昭和47年生まれ。青森県三戸郡三戸町出身。ジュニア野菜ソムリエ、食生活アドバイザー。桜美林短期大学卒。17年間の会社員生活を経て、平成22年5月、ノースビレッジ農園合同会社を創業。地域農業の活性化をめざし、県外への農産物流通業を営む。平成25年7月、青森県産野菜・果物のみを使ったメニューを提供する「農園キッチンノースビレッジ」をオープン。平成27年、地域の伝統食の提供と農産物加工品のアンテナショップ「きたむら茶屋」をオープン。地域の小規模起業者の支援の場であり、地産地消に貢献する飲食店として地元の人たちに親しまれている。
栗谷川 柳子					
パネルディスカッション 岩手県パネリスト	(みたに たけし)		おさんぼジャージー 三谷牧場 (岩手県一戸町)	酪農業・乳製品製造業を経営	昭和50年生まれ、大阪府出身。東京農業大学を卒業後、日本各地の農場で働き牧場の仕事や知識を習得し、平成13年に県の就農事業に応募し、奥中山を三谷牧場の地と決めた。数年は準備期間で近隣の農場を手伝い、平成16年に独立。試行錯誤の上、平成18年5月「金のヨーグルト」の販売を開始し、特産品コンクールで最高賞である県知事賞を受賞。
三谷 剛史					
パネルディスカッション 秋田県パネリスト	(やの とみみ)		株式会社秋田ことづくり (秋田県横手市)	秋田県のフルーツと日本酒の 定期通販業を経営	昭和58年生まれ、東京都出身。株式会社野村総合研究所で金融機関向けソリューションの法人営業等に従事し、グロービス経営大学院にてMBAを取得。平成27年、秋田県が県外からの移住と起業を目的に開催しているビジネスコンテスト「ドチャベン」に出場。秋田県羽後町に住む祖母がいつも送ってくれた秋田産の果物の美味しさが忘れられず、秋田県の果物と日本酒を定期通販するサービスを発想・提案し、金賞に輝いた。平成28年野村総合研究所を退職し、5月に秋田県横手市で「株式会社秋田ことづくり」を創設。秋田県に移住し、秋田の魅力発信に努める。
矢野 智美					
パネルディスカッション 宮城県パネリスト	(こまつ ようすけ)		特定非営利活動法 アスヘノキボウ (宮城県女川町)	被災地における創業支援 事業を経営	昭和57年生まれ、宮城県仙台市出身。平成17年4月、(株)リクルートに入社。東日本大震災を機に退職。女川の全産業界で組織する女川町復興連絡協議会にて、復興提言書の作成、創業、事業再建に携わる。平成25年4月NPO法人アスヘノキボウを設立。平成26年4月から女川町商工会職員を兼務。国内外と女川を繋ぐハブとして、復興まちづくり、創業・再建支援、移住促進等を行っている。
小松 洋介					
パネルディスカッション 山形県パネリスト	(くろだ みか)		アカデミーローズレーン (山形県米沢市)	人材育成業・塾を経営	昭和41年生まれ、東京都出身。大学卒業後、日本航空の国際線客室乗務員、専門学校講師などをを経て、一家で米沢市に転居。人材育成アカデミーローズレーンを設立。山形大学工学部大学院非常勤講師、山形デザイン専門学校非常勤講師、米沢工業高校専攻科非常勤講師、また、里山ソムリエ®として、約2,000坪の森と畑に囲まれた里山に暮らし、里山構成要素の再発掘、再評価、再導入を実践。
黒田 三佳					
パネルディスカッション 福島県パネリスト	(いなふく ゆり)		福福堂 (福島県田村市)	無農薬・無化学肥料栽培の 農業と農産物の加工業を経営	昭和60年生まれ、東京都出身。東京で管理栄養士と調理師の資格を取り、給食施設に勤務。農業や野菜へ関心を持つようになり、全国各地の農業体験ツアーに参加。福島の農業体験ツアーで、当時ツアーの受入をしていたご主人と出会い、結婚。結婚式前日に東日本大震災が発生し、放射線や農業再開への心配などで週末に福島へ通い続けたが1年後福島県田村市へ移住。ご主人の農業を手伝いながら、小学校の栄養士を務め、平成25年1月に「福福堂」を立上げ代表となり、平成28年4月に本格的に農業や加工業をスタート。
稲福 由梨					